

ばらんす

第58号

編集発行

大田原市総合政策部
政策推進課 市民協働係

〒324-8641 大田原市本町1丁目4番1号

☎ 0287-23-8715

FAX 0287-23-8748

mail seisakusuishin@city.
ohtawara.tochigi.jp



那須地区消防組合 黒磯消防署勤務
消防士・救急救命士

おお かに あ す か

大谷 明日香さん (36歳) をご紹介します!
(大田原市美原在住)



1月中旬、透き通るような青空のもと黒磯消防署に勤務する大谷明日香さんを訪ねました。男性に交じり消防士の仕事をてきぱきとこなす。更衣室には安全装備の防火衣・感染防止衣が置かれ、出勤要請に応じてすばやく着装。その様子に、常に訓練された彼女の笑顔の奥にある真剣な思いを見ることができました。

大谷さんは、数少ない女性の救急救命士。男性と同じ制服を着用し、救急の現場には昼夜を問わずかけつけなければなりません。そんな厳しい現場にあえて飛び込んだ大谷さんの仕事に対する思いをお聞きました。(記 天沼)

大谷 明日香さんへの インタビュー

◆救急救命士になろうと思ったきっかけを教えてください。

高校生の時に交通事故に遭い、救急車で搬送されました。その時の救急隊の方が丁寧に優しく声をかけてくれました。この経験から「いつか自分もそんな温かい救命士になりたい」と思いました。

◆救急救命士は国家資格ですか？

そうです。救急救命科のある専門学校に進学して、国家試験を受け取得しました。消防署に入ってから取得することも可能です。

◆仕事内容を教えてください。

救急車で出動し、傷病者の症状から、医師と連絡を取り合い、点滴や器具を使用した気道確保などの医療的な救命処置を行います。また、傷病者の症状から搬送先の病院を判断します。さらに消防士として、火災の際は、消防車で出動し、放水もします。



◆やりがいを感じるのどんな時ですか？
搬送した患者さんやそのご家族から「ありがとう」と言っていたいた時です。また、「元氣になった」と会いに来てくれた時はとても嬉しいです。

◆救急車に乗車する救急救命士は、何人いるのですか？
通常、救急車には3名の職員が乗車し、そのうち救急救命士は最低1名乗車します。

◆女性救急救命士ならではの良さはありますか？

女性の傷病者や婦人科系の疾患の方には、女性救急救命士がいて安心していただけたことがあります。ご興味ある方は、ぜひ一緒に働きましょう！

◆女性が少ない職場環境ですが大変ではないですか？

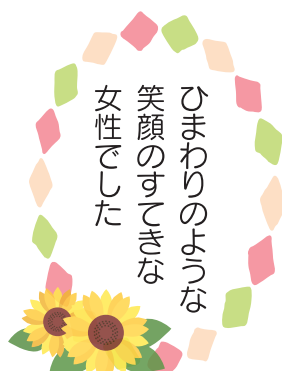
職場の皆さんが優しいので、大丈夫です。隊員の皆さんとコミュニケーションもよく取れていて、チームワークはとても良いです。

◆これからの目標を教えてください。

いつか隊長になる時がきますが、その時には傷病者はもちろん、隊員の気持ちもわかるような隊長になりたいです。



▲黒磯消防署のみなさん、右端に大谷さん



◆みなさまへ一言をお願いします。
救急車の適正利用をお願いしたいと思います。重症の方のため、ご協力をお願いします。
(記天沼、相馬)

大谷さんが働く職場をご紹介します

那須地区消防組合について

那須地区消防組合は、大田原市、那須塩原市及び那須町の2市1町を管轄する消防組合で、1本部、4消防署、5分署で組織されています。

○職員(正規) 311名 (男性304名、女性7名)

○救急救命士 99名 (男性 93名、女性6名)

(令和7年1月1日現在)

令和5年出動件数		(件)
区分	那須地区(全体)	大田原市
救 急	11,034	3,377
火 災	90	28
救 助	267	71

出典：令和6年9月那須地区消防本部発行「消防年報(令和5年版)」より

大田原市内では1日に平均10件出動しています



那須地区消防組合について詳しい情報はホームページをご覧ください。

大田原市男女共同参画推進事業 デートDVとは ～互いを尊重する対等な関係を築くためには～

10月30日
開催

講 師：認定特定非営利活動法人ウイメンズハウスとちぎ カウンセラー 藤平 裕子氏

会 場：栃木県立大田原女子高等学校 体育館

参加者：栃木県立大田原女子高等学校 2 年生 198 人

デートDV（交際している恋人同士の間で起きる暴力）について、中学生から大学生までの交際経験者の3人に1人が被害の経験者であること（※）を聴くと、生徒たちは非常に驚いた様子でした。被害者のうち3～4割は誰にも相談せず、相談した人は友人や家族に伝えたとの統計資料から、デートDVは身近な問題であり、他人事と思わないことが大切であると説明がありました。

また、社会に情報があふれる中で正確な情報を見極めることの大切さ、性的同意について最新の法律による解説とともに紅茶に置き換えて考える動画の視聴などわかりやすく解説いただきました。（記 藤沼）

※ 出典：「全国デートDV実態調査報告書2017」認定NPOエンパワーメント神奈川

※DV…配偶者や恋人など親密な関係にある、又はあった者から振るわれる暴力



身体的な暴力

殴る・たたく・蹴る、腕をつかむ、髪をひっぱる、物を投げつけるなど

デジタル暴力

裸の写真や動画の撮影、裸の画像送付の強制・SNSへアップ（リベンジポルノ）など

精神的暴力

怒鳴る、無視をする、行動を監視・制限する、異性との電話やメールを禁止するなど

デートDV

避妊に協力しない、ポルノビデオなどを無理に見せる、性的行為を強要するなど

性的な暴力

経済的な暴力

借りたお金を返さない、いつもお金を出させる、借金をさせるなど

こんな経験ありませんか？



高校生のアンケートより

- 学校の授業では習わないけれど、重要な内容であると感じました。
- デートDVは自分で気づきにくいものだということがわかった。
- 講話を通して、デートDVは当事者だけでなく、むしろ相談を受ける周囲の人にこそ正しい知識と適切な考え方が必要だとわかりました。今後人と関わる時は、相手の身体と心を尊重し、健全な関係を築いていきたいです。

相談窓口

大田原市子ども幸福課 / 電話0287-23-8792 月～金曜 8:30～16:00
DV相談+（プラス）/ 電話0120-279-889 24時間体制の電話相談

相談機関について、詳しくは市ホームページをご覧ください。



3市町女性団体研修交流会 映画上映「リトル・ガール」・講演

11月15日
開催

LGBTQ+／SOGI～私たちが学び合うことで 多様性を認め合う社会をつくる～

講 師：国際医療福祉大学大学院 助産学分野 准教授 森越美香氏

会 場：トコトコ大田原 市民交流センター 視聴覚室

参加者：大田原市・那須塩原市・那須町 16 団体 47 人



女性の地位向上と住みよいまちづくりに貢献している大田原市女性団体連絡協議会は、大田原市、那須塩原市、那須町の女性団体が交流する研修会を開催しました。第1部はフランスのドキュメンタリー映画「リトル・ガール」を視聴。男の子として生まれたサシャが幼くして性別に違和感を覚え、女の子として生きていく葛藤が描かれました。第2部は森越先生の講演。LGBTQ+（※1）やSOGI（※2）についての用語解説、当事者への理解・配慮が十分でない現状や、正確な知識を学ぶ重要性について説明がありました。

性の多様性は社会の多様性の一つだと思います。自分の固定観念や常識の枠を超える必要性についても考えさせられました。（記 江馬）

※1 LGBTQ+：性的少数者を表す言葉。 ※2 SOGI：LGBTQ+を包括した言葉。性的志向と性自認。

【参加者の感想】

- LGBTQ+の講演は知らないことが多く大変良かったです。正しい知識を周知した方がよいと思いました。
- LGBTQ+の方々の生きづらさ、社会の問題を深く考えさせられました。
- 映画について、他人事と考えず、自分であつたら、自分のこどもであつたら、自分の兄弟であつたら、とまず考えてみました。とても重い、悲しくて苦しい、息をつくのが辛く涙が出ました。すべての人がありのままに生きられるように、幸せでありますようにと願いました。

令和6年度 男女共同参画推進事業者表彰

市では、男女が互いを尊重し、責任を分かち合い、その個性と能力を発揮できる働きやすい職場づくりに向けて積極定期に取り組んでいる事業者を表彰しています。今年度は次の3事業者が受賞しました。

受賞事業者(写真向かって左から)

- ◆株式会社栃木ニコン 様
- ◆株式会社栃木ニコンプレシジョン 様
- ◆社会福祉法人邦友会 様



株式会社栃木ニコン

所在地:実取 / 業種:光学機械器機製造

「安心・安全な職場づくり」の取組として、職場上長による個人面談を実施するほか、社内担当と外部の専門業者による相談窓口を設けるなど、従業員の不安解消に努めています。永年勤続された従業員を対象に特別休暇制度を整備しています。



株式会社栃木ニコンプレシジョン

所在地:実取 / 業種:光学機械器機製造

育児・介護に関する特別休暇制度や短時間フレックス勤務制度などを整備し、制度を活用しやすい環境づくりに取り組んでいます。有給休暇を計画的に取得できる制度を整えるなど、男女とも家庭環境の質向上に努められる機会提供を行っています。



社会福祉法人邦友会

所在地:北金丸 / 業種:医療福祉

各部門に保有する資格や適性に応じて女性を配置し、女性管理職を積極的に登用しています。男女ともに育児休業制度などを活用し、仕事と育児の両立ができる雇用環境の整備に努めています。また、働きながら学びたい職員を経済的に支援するため「キャリア支援・奨学金制度」を提供しています。

事業者の取組は広報おおたわら3月号、市ホームページに掲載しています。ぜひご覧ください。

URL: <https://www.city.ohtawara.tochigi.jp/docs/2025013000012/>



編集後記

栃木県北地域は、自然災害が少ないと言われているが、2019年台風19号での蛇尾川堤防決壊を忘れることはできない。災害は必ずやってくる。災害から受ける影響は男性と女性で異なるため、ニーズの違いに配慮し、平常時から防災に備えたい。

(記 岩元)

編集委員

(五十音順)

天沼明美 岩元利孝 江馬久美
相馬和恵 藤沼久子

国際医療福祉大学
森越美香 沼澤広子